

(3) Hospital Kuala Lumpur (HKL)

- 訪問日:2018年12月4日
- 都心にある国内最大の国立病院。
- 先方からは、約10名が参加。画像診断装置関連の意見交換のために、放射線科からも参加。
- 先方より、病院の概要についてプレゼンテーションがあった。
- 先方より、放射線科の設備に関するプレゼンテーションがあった。
- 先方より、意見交換において、コメントを得た。下記の内容を含むものであった。
 - 「シンプル医療機器」のニーズについて)ICUのような患者を動かすことができない場面では、容易に持ち運べるエコーやX線装置などへのニーズはある。
 - 「ワンマレーシアクリニック」は、今後、名前を変えて存続することになると思われる。ただし、現状では、医師がいるわけではなく、極めて基本的な処方を行うだけの施設であり、エコーやX線が設置されるような施設ではない。
- 先方の案内で、院内の施設(MRI、CT、X線、カテーテル、マンモグラフィなど)の見学を行った。同行した医師は、「導入されている機器の多くは、日本の最先端と比べて5-10年程度前の旧世代のものとの印象を受ける」とのコメントをしていた。